



平成26年7月17日

岡山大 MBA の研究成果『組織変革マネジメントへの招待』 発刊

概要：岡山大学大学院社会文化科学研究科・組織経営専攻（岡山大 MBA）・松田研究室は、その研究成果の一端として、松田陽一教授と大学院生3名との共著『組織変革マネジメントへの招待』を、平成26年3月、岡山大学出版会から発刊しました。

従来、教員と院生との共著で、教科書の発刊は2回ありましたが、特定のテーマ（組織変革＝人の意識や行動を変える）を対象に発刊したのは2006年岡山大MBA創設以来、初めてです。書評も出ており、とくに医療関係者からは非常に興味を持たれています。また、この研究成果を基に、今年度、新たに科研費を獲得し、さらなる発展を計画しています。

1. 本著の概要・岡山大MBA

(1) 執筆者・書名・構成等

本書は、松田陽一編著、山本智子・川上佐智子・大月説子著『組織変革マネジメントへの招待～抵抗の除去とチーム医療の活用』、岡山大学出版会、2014年3月、です。全8章・266頁からなり、その構成は、第Ⅰ部：組織変革マネジメントの基礎と実態（第2～3章・松田）、第Ⅱ部：抵抗の除去マネジメントの基礎とケース（第4章・松田、第5章・川上）、第Ⅲ部：チーム医療の活用マネジメントの基礎とケース（第6～7章・山本、第8章・大月）です。

(2) マネジメント実践における特徴的な内容

①第5章では、インタビュー調査に基づいて、組織変革において抵抗が生起する要因（精神的苦痛、保守的な職場風土等）、メカニズム・プロセス、除去（参加、推進グループに取込む等）を2つの企業のケースから明らかにしています。これは従来研究（経営学や社会心理学）をフォローする結果になっています。

②第6章では、レビューによるチーム医療の概要と県内病院対象のアンケート調査に基づくチーム医療の実態を明らかにしています。そこでは、それに関する普及・活動・課題等を提示しています。

③第7章では、インタビュー調査に基づいて、チーム医療が他職員に与える影響を2つの病院のケースから明らかにしています。そこでは、職場活性化による提供医療品質の向上が提示されています。

④第8章では、渉猟・インタビュー・観察調査に基づいて、チーム医療を意図的に導入し、経営赤字を脱却した香川県坂出市立病院のケースを詳細に紹介しています。そこでは、従来の経営学の知見とは異なって、チームそのものが他職員に与える影響に着目して、それを意図的に導入し、マネジメントしている様相を詳細に提示しています。なお、執筆者の職（病院・看護部長）の関係から協力を得られ、カメラを持ちこんで、チーム活動を「追っかけ」しているのはユニークです。

(3) 岡山大MBA

本著は、2007年4月～2013年3月まで岡山大学大学院社会文化科学研究科・組織経営専攻（岡山大 MBA）・松田研究室に所属した院生（修士論文）との共著です。ちなみに、岡山大 MBA は、2006年4月に創設され、2014年3月末までに80名の修了生を出しています。修了後は、学会発表（中小企業学会、中四国商経学会、日本医療マネジメント学会等）、査読・雑誌投稿、共同研究、本学学部・院をはじめ他大学の非常勤講師（岡山県立大、倉敷芸術科学大等）、県内企業・諸団体の研修講師（JA 岡山等）、講演会、雑誌記事連載（岡山経済研究所報、おかやま財界等）、マスコミ出演や被取材、学会・シンポの委員長・座長等で活躍しています。また、2004年以来、台湾国立交通大学経営管理學院、中国の jinan（暨南）大学商学院（広州市）や吉林大学商学院（長春市）での講義・研究会で、研究報告等を行っています。関西学院大学経営戦略研究科・神戸大学経営学研究科・ウェールズ経営大学院大阪校との交流も行っています。

PRESS RELEASE



岡山大学
OKAYAMA UNIV.



<お問い合わせ先>

岡山大学大学院社会文化科学研究科（経済）

教授 松田 陽一

（電話番号）086-251-7557